

各位

上場会社名 日本フォームサービス株式会社  
 代表者 取締役社長 山下 岳英  
 (コード番号 7869)  
 問合せ先責任者 取締役総務部長兼介護事業部担当 大海原 秀人  
 (TEL 03-3636-0011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年11月13日に公表いたしました第2四半期累計期間(平成21年10月1日～平成22年3月31日)および通期(平成21年10月1日～平成22年9月30日)業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年9月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,245	54	62	32	8.03
今回発表予想(B)	1,922	147	164	91	22.86
増減額(B-A)	677	93	102	59	
増減率(%)	54.5	172.7	164.7	184.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	1,170	25	33	17	4.40

平成22年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,536	85	100	47	11.79
今回発表予想(B)	3,047	95	120	66	16.55
増減額(B-A)	511	10	20	19	
増減率(%)	20.1	11.8	20.0	40.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	2,223	28	44	19	4.92

平成22年9月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,245	50	57	30	7.52
今回発表予想(B)	1,914	143	157	88	22.30
増減額(B-A)	669	93	100	58	
増減率(%)	53.8	186.4	177.2	196.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	1,167	30	38	20	5.07

平成22年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,536	80	95	44	11.03
今回発表予想(B)	3,047	105	130	72	18.06
増減額(B-A)	511	25	35	28	
増減率(%)	20.1	31.3	36.8	63.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	2,220	35	50	23	5.99

修正の理由

連結業績予想の第2四半期連結累計期間における売上高につきましては、当社グループの主要事業である函物及び機械設備関連事業において、従来のラックおよびアーム関連製品の他に官公庁向けの新製品の19インチラックおよび監視卓、学校教育向けのLCDスタンド等、第3四半期以降に予定しておりました大口案件の前倒し受注を取ることができたこと

から、当初計画の9億3千9百万円から6億7千8百万円増加し16億1千8百万円となり大幅に当初計画を上回り順調に推移いたしました。一方、介護関連事業におきましては、利用者確保の営業活動を進めてはいるものの当初計画の3億6百万円から1千万円減少し、2億9千6百万円となり当初計画を下回っております。この結果、当社グループにおける売上高は当初計画の12億4千5百万円から6億6千8百万円増加し、19億1千4百万円となりました。

第2四半期累計期間における利益面につきましては、大口案件に対するまとまった材料発注によりコストダウンを図ることができ、また人員配置の効率化による人件費および経費の削減により、当初計画よりも函物及び機械設備関連事業並びに介護関連事業ともに営業利益・経常利益・四半期純利益は大幅に増加いたしました。

通期業績予想につきましては、売上高および利益面においては当初第3四半期以降に予定しておりました計画以上の受注が第2四半期へ前倒して受注することができたこと、また、新製品の市場投入により予定以上の受注を得ることができたことから、依然新製品と通信ラック等の受注が好調ではあるものの、下期の当初計画は若干下回る可能性はありますが、第2四半期累計期間の業績を勘案し通期予想を修正することといたしました。

なお、個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由により修正しております。

(注)上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上